

景況

レポート
2023年10～12月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比9.4ポイントプラス

今回のアンケート調査は、各種イベントの活発な再開やインバウンド需要の復活などプラス要因がある一方、原材料価格の高止まりや人手不足に伴う人件費の高騰などマイナス要因が交錯する中で実施いたしました。結果として、今期の全業種業況DIはプラス0.6で前期比9.4ポイント上昇となり、全体の業況判断としてはやや改善となりました。今後もコスト上昇分の価格転嫁や、深刻な人手不足への対応など中小企業経営に対する足かせが多く、海外情勢についても不透明感が拭えません。来期の業況は悪化の見通しとなっており、先行きについては厳しい状況が続くと考えられます。

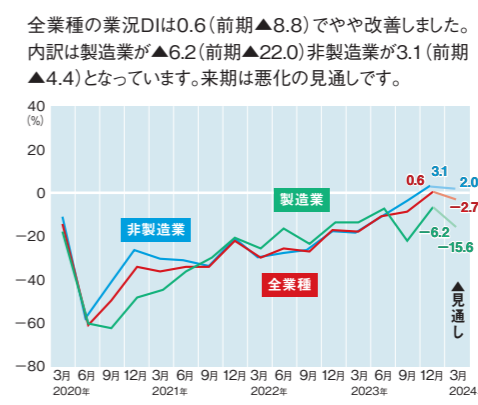
調査要領	合計			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1600社	491社	30.7%	255社	70社	27.5%	119社	41社	34.5%	294社	84社	28.6%
	製造業	357社	128社	35.9%								
	建設業	287社	87社	30.3%								
	卸売業	288社	81社	28.1%								

調査時点/2023年11月14日～12月4日
調査依頼先/当庫取引先
調査方法/郵送調査
調査対象期間/[今期]2023年10月～12月
[前期]2023年7月～9月
[来期]2024年1月～3月
分析方法/[増加](上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
*DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

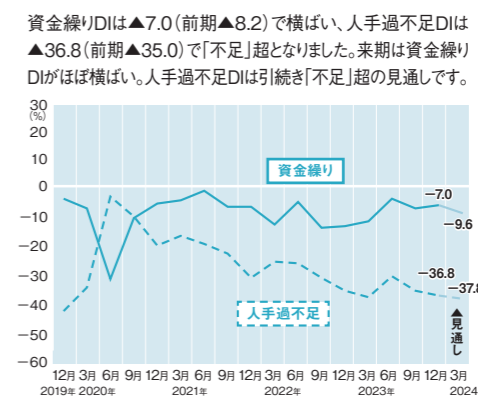
全業種総合DI

業況はやや改善
来期は悪化の見通し

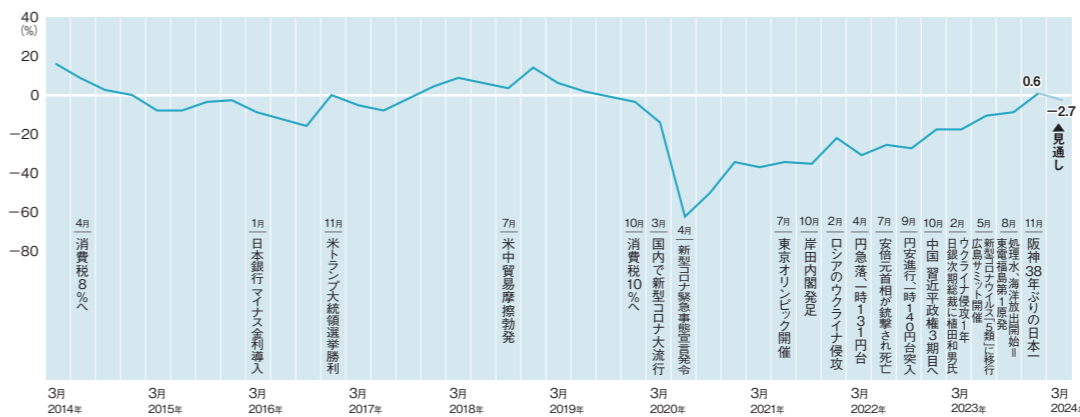
業況DIの推移



資金繰りDI:人手過不足DI



10年間の推移(業況DI)

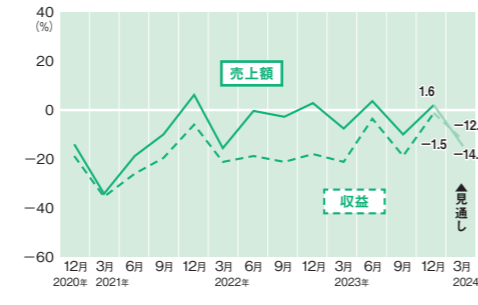


前期
今期
見通し

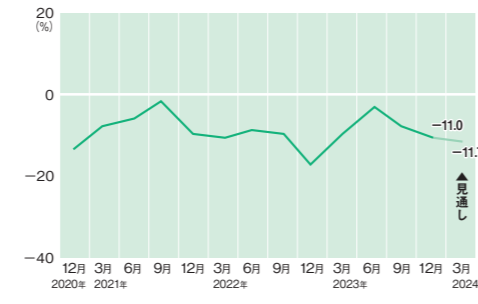
製造業

業況は大幅に改善
来期は悪化の見通し

売上額・収益DI(前期比)
売上額DIは改善、
収益DIは大幅に改善



資金繰りDI
資金繰りDIは悪化



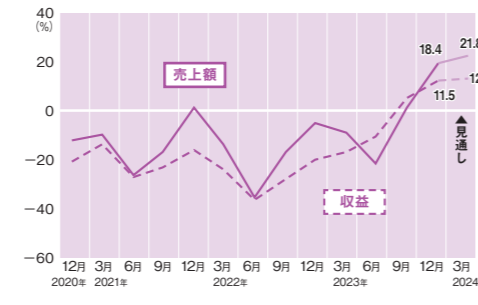
10年間の推移(業況DI)

前期
今期
見通し

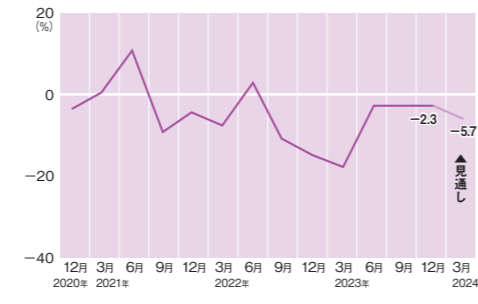
建設業

業況は大幅に改善
来期はやや改善の見通し

売上額・収益DI(前期比)
売上額DIは大幅に改善、
収益DIはやや改善



資金繰りDI
資金繰りDIは横ばい

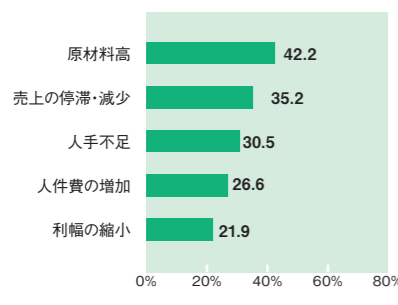


10年間の推移(業況DI)

前期
今期
見通し

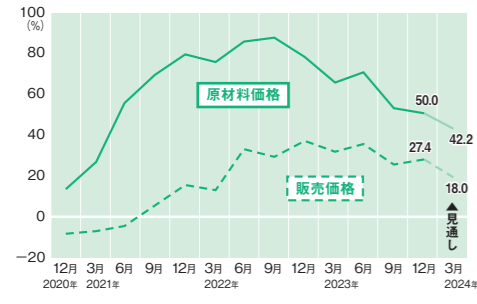
経営上の問題点

原材料高、
売上の停滞・減少が課題



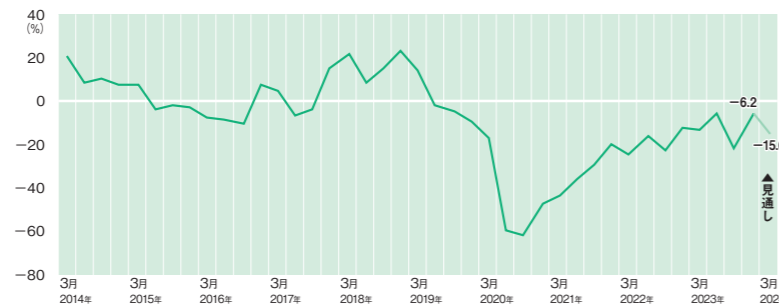
価格DI

原材料価格DIはほぼ横ばい、
販売価格DIもほぼ横ばい



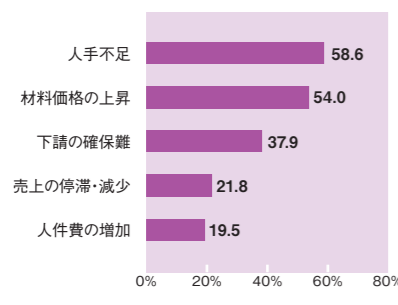
お客様の声

- 売上が昨年より上がっても利益が減少している。販売数量をあげていきたい。(摂津市 包装資材製造)
- 原材料が石油のため中東問題などにより2024年度の見通しが難しい(伊丹市 プラスチック製品製造)
- 今は我慢の時、こういう時こそ仕入先と協力していきたい(尼崎市 建具製造業)



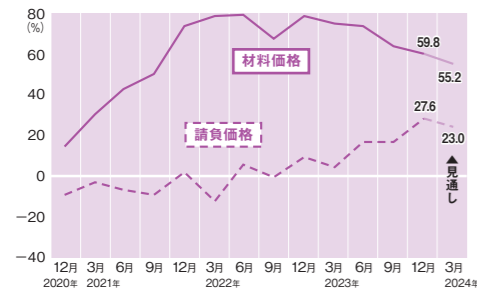
経営上の問題点

人手不足、
材料価格の上昇が課題



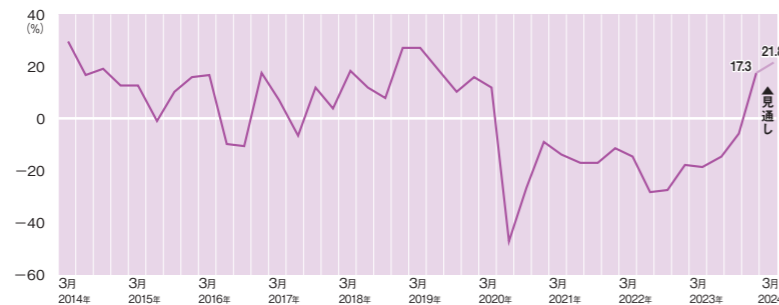
価格DI

材料価格DIはやや低下、
請負価格DIは上昇



お客様の声

- 材料の値上げ、人件費の高騰など取り巻く環境は厳しい。全社を挙げて取り組んでいかないと建設業界は厳しいと思う。(尼崎市 建設業)
- 送電線関連においては、来年度以降、益々電力会社よりの発注量が増えそうである。(宝塚市 電気通信工事)



前期
今期
見通し



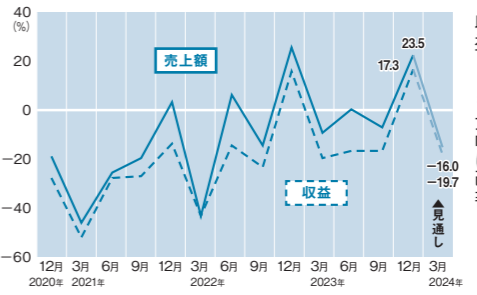
卸売業

業況は改善
来期は悪化の見通し



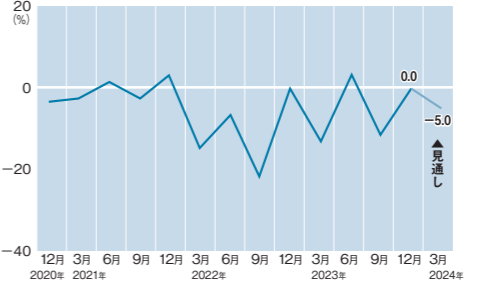
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に改善、
収益D1も大幅に改善



資金繰りD1

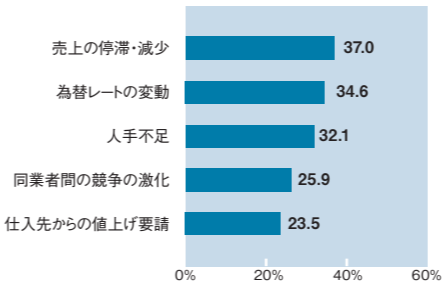
資金繰りD1は改善



10年間の推移(業況D1)

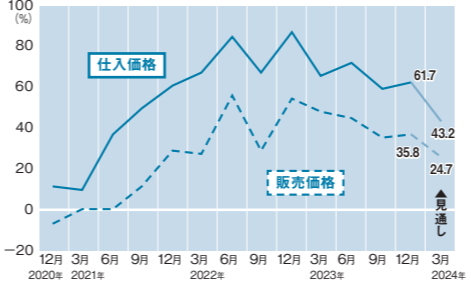
経営上の問題点

売上の停滞・減少に加え
為替レートの変動が課題



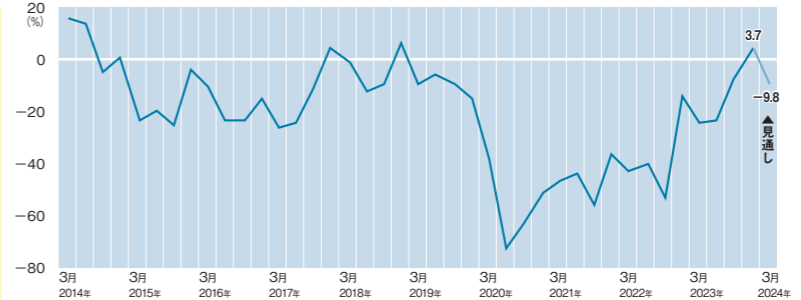
価格D1

仕入価格D1はやや上昇
販売価格D1は横ばい



お客様の声

- 仕入価格上昇が厳しい。利益の取れるアイテムを増やしていきたい。(尼崎市 工具卸売業)
- 素材および機器の高騰は驚かされる。現在、素材の方は下降気味となっている。(川西市 建築材料卸売業)
- 輸入が大で円安のため利益率が大幅に低下している。(大阪市 木材卸売業)



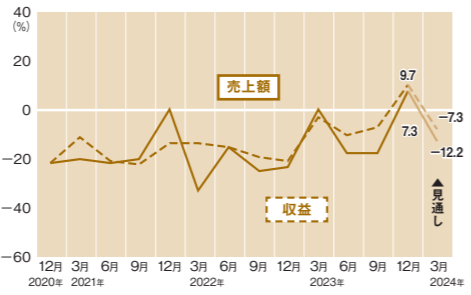
不動産業

業況は悪化
来期は横ばいの見通し



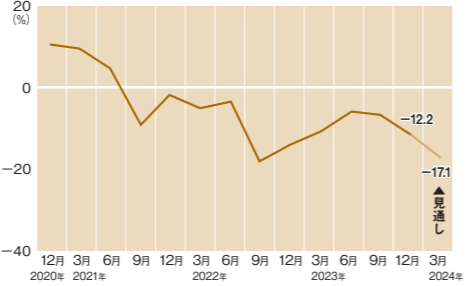
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は大幅に改善、
収益D1も大幅に改善



資金繰りD1

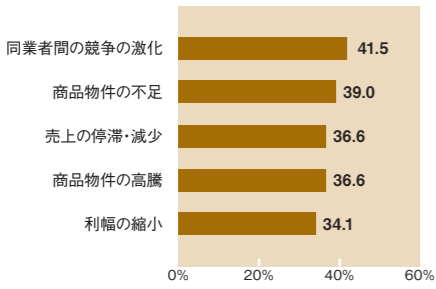
資金繰りD1は悪化



10年間の推移(業況D1)

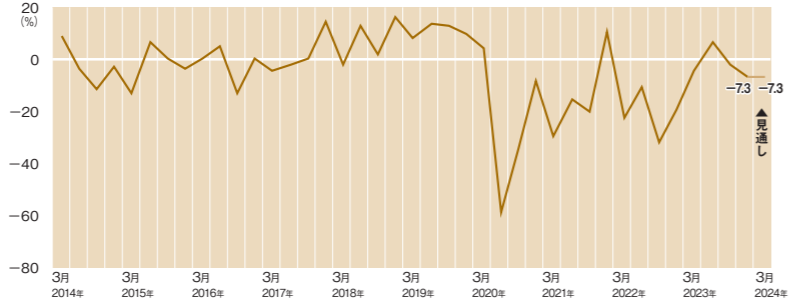
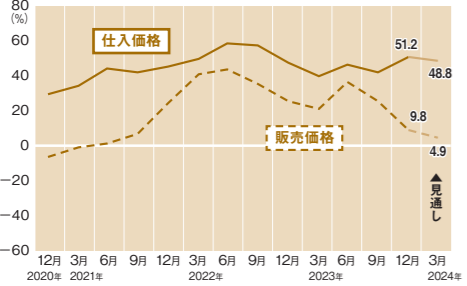
経営上の問題点

同業者間の競争の激化に加え
商品物件の不足が課題



価格D1

仕入価格D1はやや上昇
販売価格D1は大幅に低下



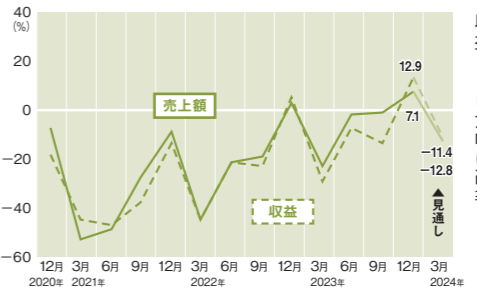
小売業

業況はやや改善
来期は横ばいの見通し



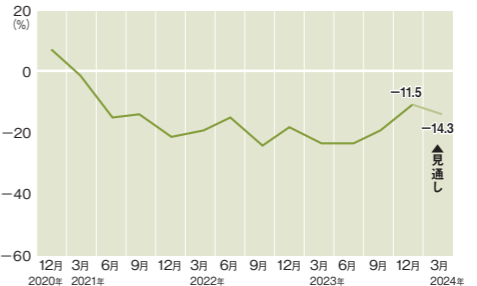
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1はやや改善、
収益D1は大幅に改善



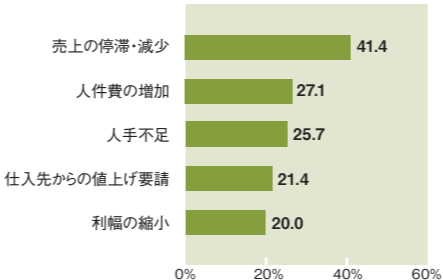
資金繰りD1

資金繰りD1はやや改善



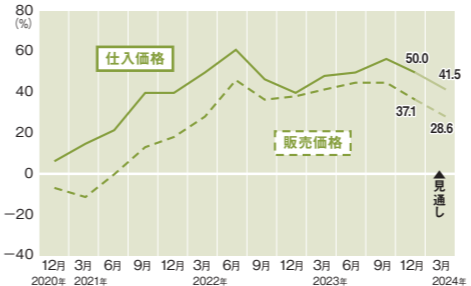
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



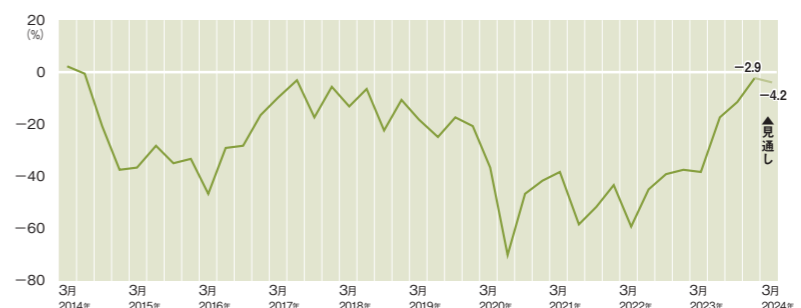
価格D1

仕入価格D1はやや低下、
販売価格D1もやや低下



お客様の声

- 金地金の上昇や輸入品の高騰で粗利減少や注文減でダメージが大きい。(大阪市 貴金属販売)
- 新車の販売価格が上昇、新車購入の見送りが散見され懸念している。(大阪市 自動車販売業)



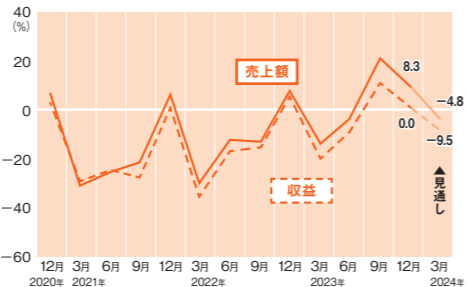
サービス業

業況は悪化
来期はやや改善の見通し



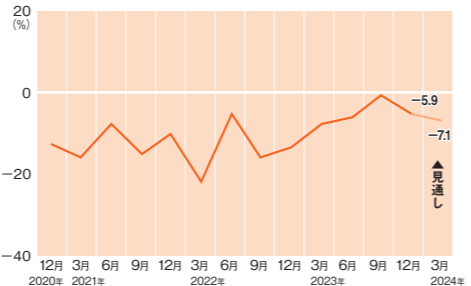
売上額・収益D1(前期比)

売上額D1は悪化、
収益D1も悪化



資金繰りD1

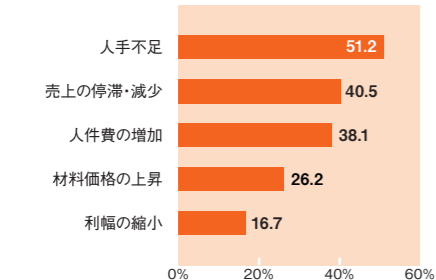
資金繰りD1は悪化



10年間の推移(業況D1)

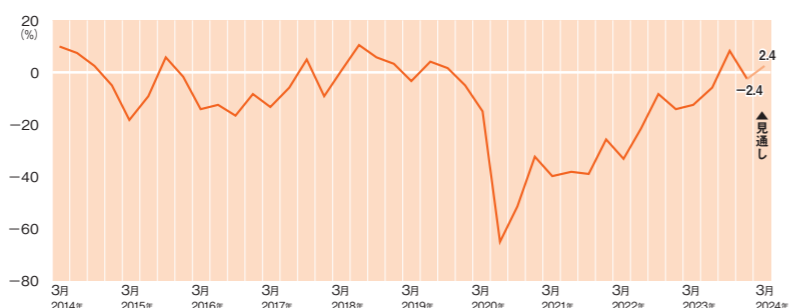
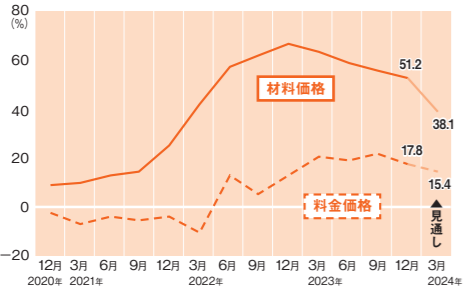
経営上の問題点

人手不足に加え
売上の停滞・減少が課題



価格D1

材料価格D1はほぼ横ばい、
料金価格D1はやや低下



お客様の声

- 大阪は輸入関係の会社が多く、コンテナ輸送会社の業況が悪いいため、2023年は大変でした。(大阪市 自動車整備業)

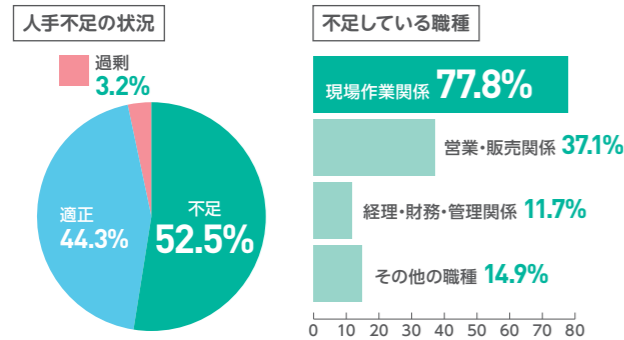
特別調査 2

中小企業における人手不足の状況と対応策について

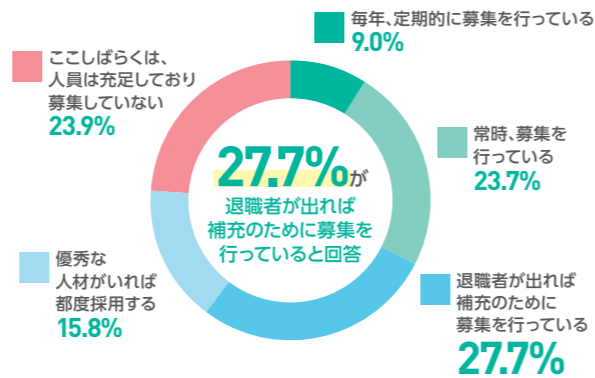
近年、少子高齢化を背景に生産年齢人口が減少していることにより、多くの企業で人手不足が深刻になりつつあり、アフターコロナの需要増加に伴う求人募集においても、人材確保に支障が生じている企業が多くなっています。また、景気動向調査における人手過不足DIにおいても、ここ数年「不足」超の状況が続いています。今回は人手不足の状況と対応策についてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2023年11月14日~12月4日 調査対象企業数/1600社 有効回答数/472社 有効回答率/29.5% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

Q1 貴社では最近、さらに深刻になりつつある人手不足の状況をどのように認識されていますか。 ※1つ選択
不足と回答された方は、不足のある職種をお答えください。 ※最大2つ選択



Q2 貴社では人材雇用についてどのような採用方針に基づき募集していますか。 ※1つ選択



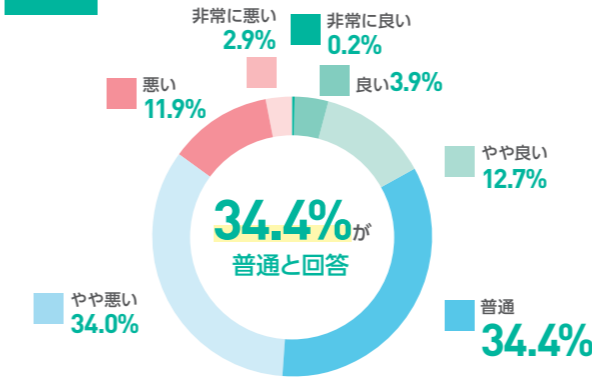
特別調査 1

2024年(令和6年)の経営見通し

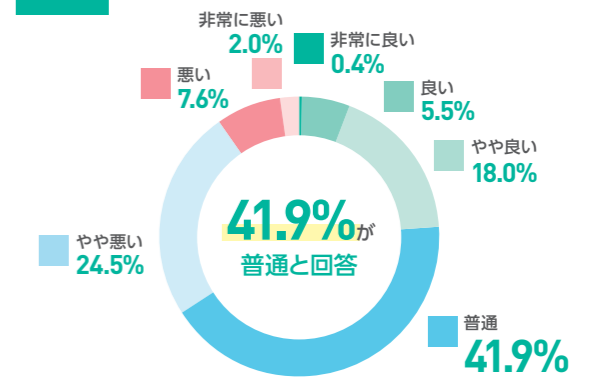
2024年の景気については、経済がほぼ正常化となったものの、原材料やエネルギー価格の高止まり、人手不足の慢性化など中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くと思われます。今回は新しい年を迎えるにあたり、国内景気や自社における業況を中心に中小企業の皆さまがどのような見通しを立てているのかについてアンケートを実施いたしました。

調査時期/2023年11月14日~12月4日 調査対象企業数/1600社 有効回答数/488社 有効回答率/30.5% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

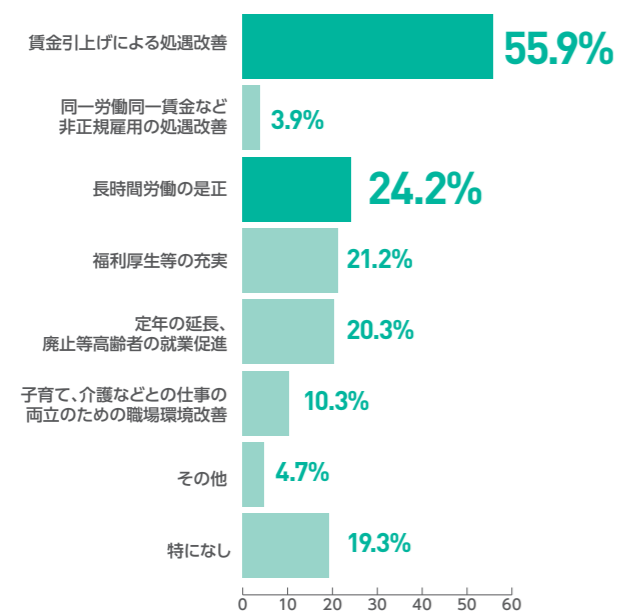
Q1 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。 ※1つ選択



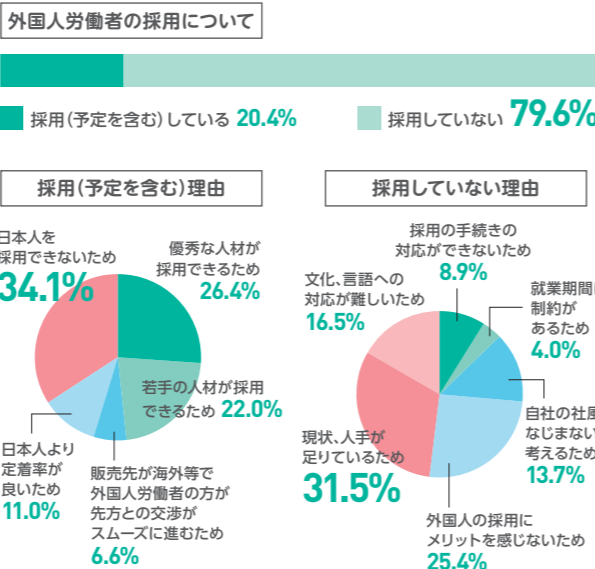
Q2 貴社では、2024年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。 ※1つ選択



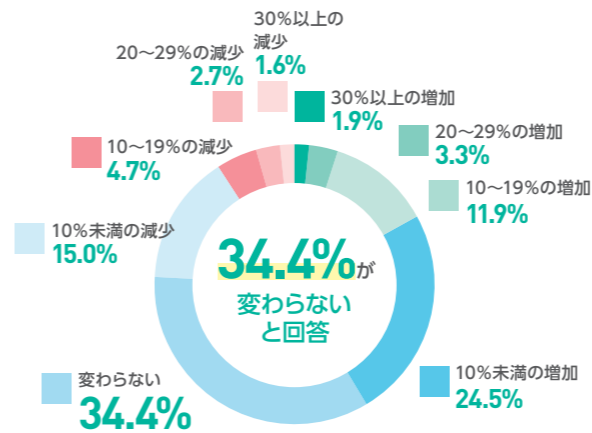
Q3 貴社では人材の雇用確保、維持のためどのような取り組みを行っていますか。 ※最大2つ選択



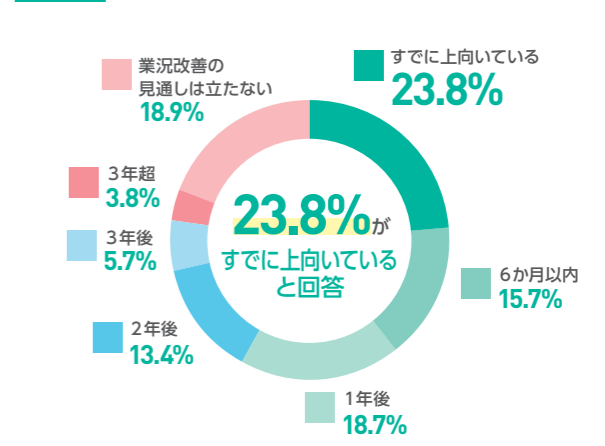
Q4 貴社では外国人労働者を採用(予定を含む)していますか。採用(予定を含む)している場合、採用していない場合、それぞれ理由をお答えください。 ※それぞれ1つ選択



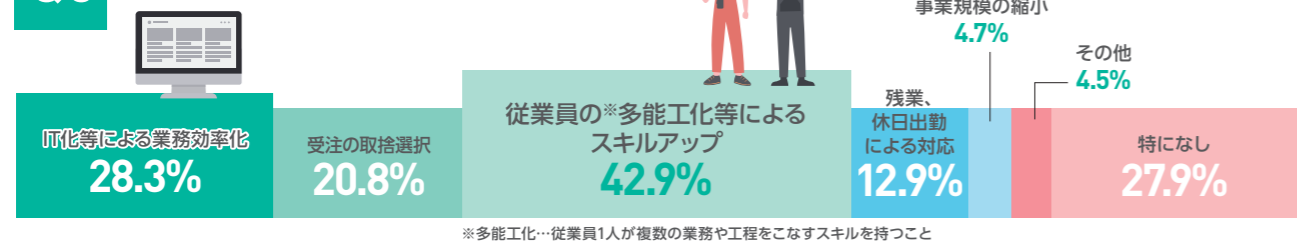
Q3 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。 ※1つ選択



Q4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。 ※1つ選択



Q5 貴社において人材不足の中、企業の維持継続のためどのような取り組みを行っていますか。 ※最大2つ選択



Q5 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。 ※それぞれ1つ選択

